

住民アンケート調査結果報告

去る、7月に実施いたしました対馬市第1次総合計画に係るアンケート調査につきましては、多数の市民の皆様にご協力を頂き、ありがとうございました。

おかげさまで貴重な資料を得ることができました。今後策定をしていきます「対馬市第1次総合計画」に反映させていきたいと思っています。

なお、詳細な資料が必要な方につきましては、対馬市ホームページ(<http://www.city.tsushima.nagasaki.ne.jp>)でご覧頂くか、対馬市政策部政策企画課までご連絡下さい。
連絡先：対馬市政策部政策企画課 (Tel 0920-53-6111 内線442~444)

結果の要旨

(1) 定住意向

- ・一般 - 70%を越える人が住み続けたいと回答。
- 峰町・豊玉町の定住意向は高く、厳原がやや低い。
- ・高校生 - 住み続けたいとの回答は40%以下。転出意向も同程度。
- 峰町が最も高く(49.2%)、厳原町は極端に低い(30.6%)

(2) U、Jターン意向 (高校生のみ)

- ・60.5%がU、Jターンの意向あり。
- ・豊玉町(67.1%)と美津島町(67.8%)が高い。

(3) 住みやすさ



- ・一般 - 41.7%が住みやすいと回答。
- 豊玉町(48.8%)と美津島町(47.2%)が住みやすいとの回答が高い。
- 住みにくいとの回答は、上県町が最も高い(34.0%)。
- ・高校生 - 40.9%が住みやすいと回答。
- 豊玉町(49.7%)と上対馬町(47.8%)が住みやすいとの回答が高い。
- 住みにくいとの回答は、厳原町が最も高い(25.1%)。

(4) 生活環境等の 満足度



- ・一般
 - 交通の利便性は、半数以上が不満。特に島内公共交通に対する不満が高い。
 - 道路は、半数以上が不満。どちらかといえば幹線道路に対する不満が高い。
 - 上水道は約半数が満足。下水道に対する不満が高い。
 - コミュニティ施設は、約40%が満足。厳原町は20.7%と低い。
 - 文化施設は、全体的に低い(約20%)。厳原町は約10%さらに低い。
その中、豊玉町は30%を越えている。
 - 生涯学習の機会の提供は、美津島町・厳原町で不満に感じている(約50%)。
 - スポーツ・レクリエーション施設は、峰町と豊玉町で満足(30%)。
厳原町では約45%が不満。
 - 商業施設は、全体的に満足度が低い。特に厳原町で約45%が不満と高い。
 - 医療施設・救急体制は、全体的に不満。
上対馬町・上県町・峰町・豊玉町では60%以上が不満。
 - 農林水産業と観光の振興の取り組みは、満足度が極端に低く、1割以下。
 - 国際交流の取り組みはどちらともいえないの回答が最も高い。
 - 雇用機会の創出は、不満が65~70%と高く、不満の割合が最も高い項目。
- ・高校生
 - 全体的にどちらともいえないの割合が高く、満足の割合は20%前後。

	<ul style="list-style-type: none"> - 国際交流の取り組みは、上対馬町・上県町・美津島町・厳原町で満足の割合が35～45%と高い。 - 島内の公共交通の利便性と商業施設は、不満の割合が45～60%と高い。
--	---

<p>(5) 将来のイメージ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般 <ul style="list-style-type: none"> - 1位「1.農林業が盛んな自然を生かしたまち(52.1%)」 - 2位「8.医療体制や健康づくりが充実した健康のまち(47.5%)」 - 3位「4.落ちついて暮らせる安全でゆとりのあるまち(43.0%)」 - 4位「9.高齢者や障害者など全ての人安心して暮らせる福祉のまち(31.6%)」 - 5位「12.道路や公園などの生活基盤が整った快適で便利なまち(26.1%)」 - 上対馬町・峰町・豊玉町は「8.医療体制や健康づくりが充実した健康のまち」が1位。 - 美津島町・厳原町は「4.落ちついて暮らせる安全でゆとりのあるまち」が1位。 - 中心市街地である厳原町は「5.商工業やサービス業が活発な産業のまち(25.9%)」が4位。 ・高校生 <ul style="list-style-type: none"> - 全ての地域で「4.落ちついて暮らせる安全でゆとりのあるまち」が1位。 - 全ての地域で「12.道路や公園などの生活基盤が整った快適で便利なまち」が2位。 - 上対馬町・上県町・豊玉町・美津島町の3位は「3.教育が充実し、スポーツが盛んなまち」。 - 高齢化率の高い峰町は「9.高齢者や障害者など全ての人安心して暮らせる福祉のまち」が3位。 - 中心市街地である厳原町は「5.商工業やサービス業が活発な産業のまち」が3位。
--	---

<p>(6) 地域で力を入れる分野</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般 <ul style="list-style-type: none"> - 全ての地域で「13.医療・救急医療体制の充実」が1位(65～80%)。 - 2位も全ての地域で「1.地場産業の振興と観光との連携」(50%以上)。 - 3位は、対馬上部が「17.身近な道路交通ネットワークの整備促進」。 対馬中央部が「14.保健・福祉サービスの充実」。 対馬下部が「4.かけがえのない自然環境の保全」。 ・高校生 <ul style="list-style-type: none"> - 全ての地域で「4.かけがえのない自然環境の保全」が1位(50%以上)。 - 2位と3位は、「6.自然を生かした生活環境の魅力化」と「13.医療・救急医療体制の充実」と「15.スポーツ・健康増進施設の充実」。
---	--

<p>(7) 協働のあり方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般も高校生も「2.市と住民と一緒に計画を作り、計画を実現するためお互いが協力し合う」が最も高い。 ・「3.住民が中心となって計画を作り、その実現のため市が支援やお手伝いをする」を合わせると、約80%の方が住民の参画の重要性を認識。
-------------------	--

<p>(8) 協働への関わり方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般も高校生も「2.自分から進んではやらないが、協力を頼まれれば参加する」が最も高く、「1.自分たちのまちを住みよくするために、自分から進んで参加したい」も30%と高い。 ・今後、様々な場面での住民の参加が期待できる。
---------------------	---